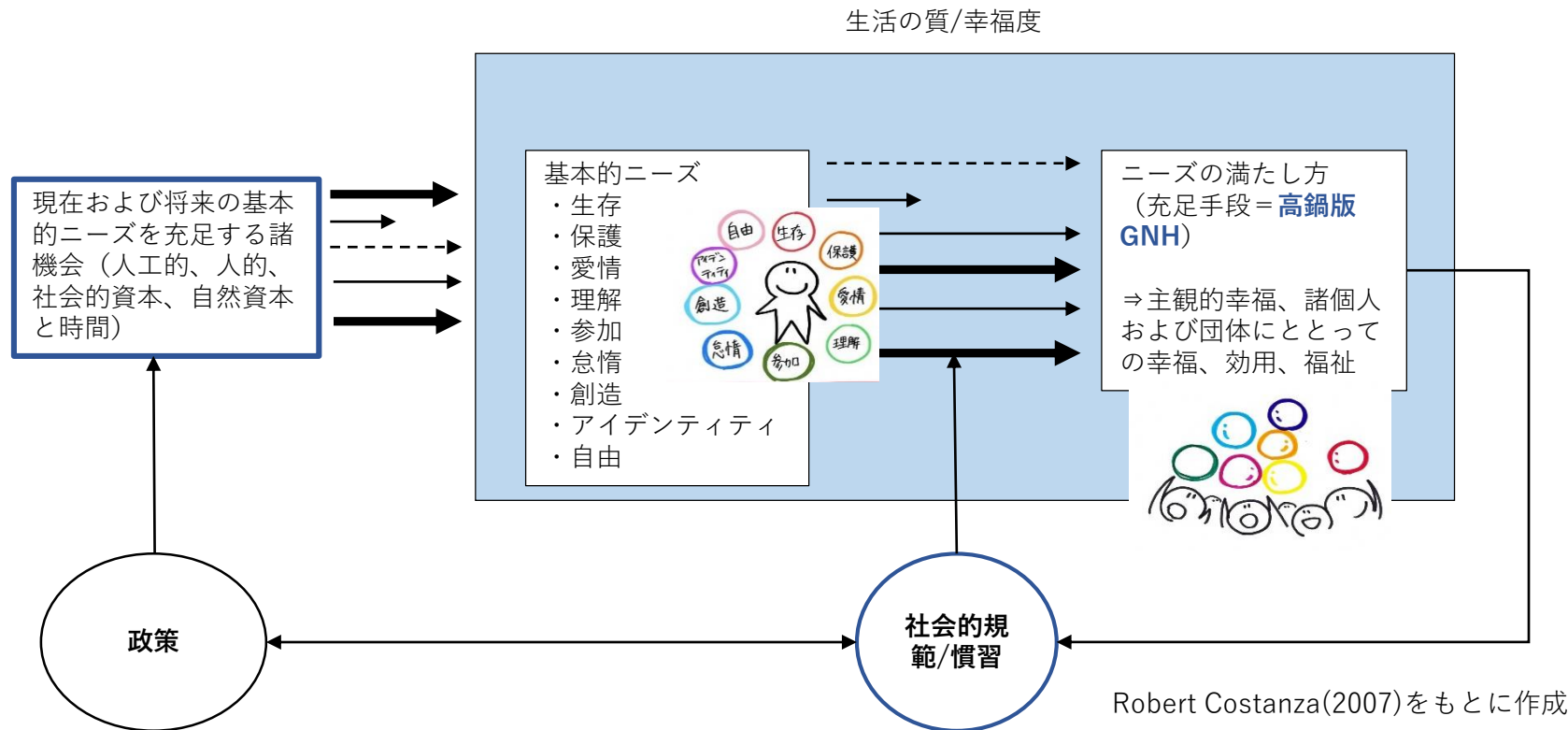


高鍋町幸せ指標  
(高鍋版GNH)  
中間アンケート結果  
(2022.10)

# 高鍋町幸せ指標（高鍋版GNH）について

- 高鍋町は、令和元（2019）年度に地元の高校生とともに、高鍋町幸せ指標（高鍋版GNH）を作成しました。
- 指標の作成は、先駆的に取り組んでいるブータンのGNH（国民総幸福量）を参考にしつつ、一人ひとりの基本的ニーズを満たす項目（充足手段）を指標化していきました（図表の青色部分）。



## 高鍋町幸せ指標（高鍋版GNH）について

- 第1回目のアンケートは、第6次高鍋町総合計画後期計画の作成に合わせて実施しました（令和元年度）。今回のアンケートは、令和4年（2022）度7月から8月にかけて、幸せ指標の中間アンケートと位置付けて、幸せの数値がどのように変化しているのかを把握することを目的に行いました。
- また、今回の中間アンケートでは、ソーシャルサステナビリティの項目として、住民のみなさんの基本的ニーズを満たしていくことを阻害するような構造的な問題にも焦点を当てました。前ページの図表にある社会的規範/慣習と書いている部分です。もし仮に、何らかの構造的な問題があるとしたら、政策として、組織として、学校として対応していく必要があります。

### <アンケート結果の活用方法について>

アンケート結果は、幸せや生活の質に関して対話を促進するために活用してください。家庭、学校、職場などで、数字を高めていくための話し合いを始めるきっかけとして数値を活用してください。

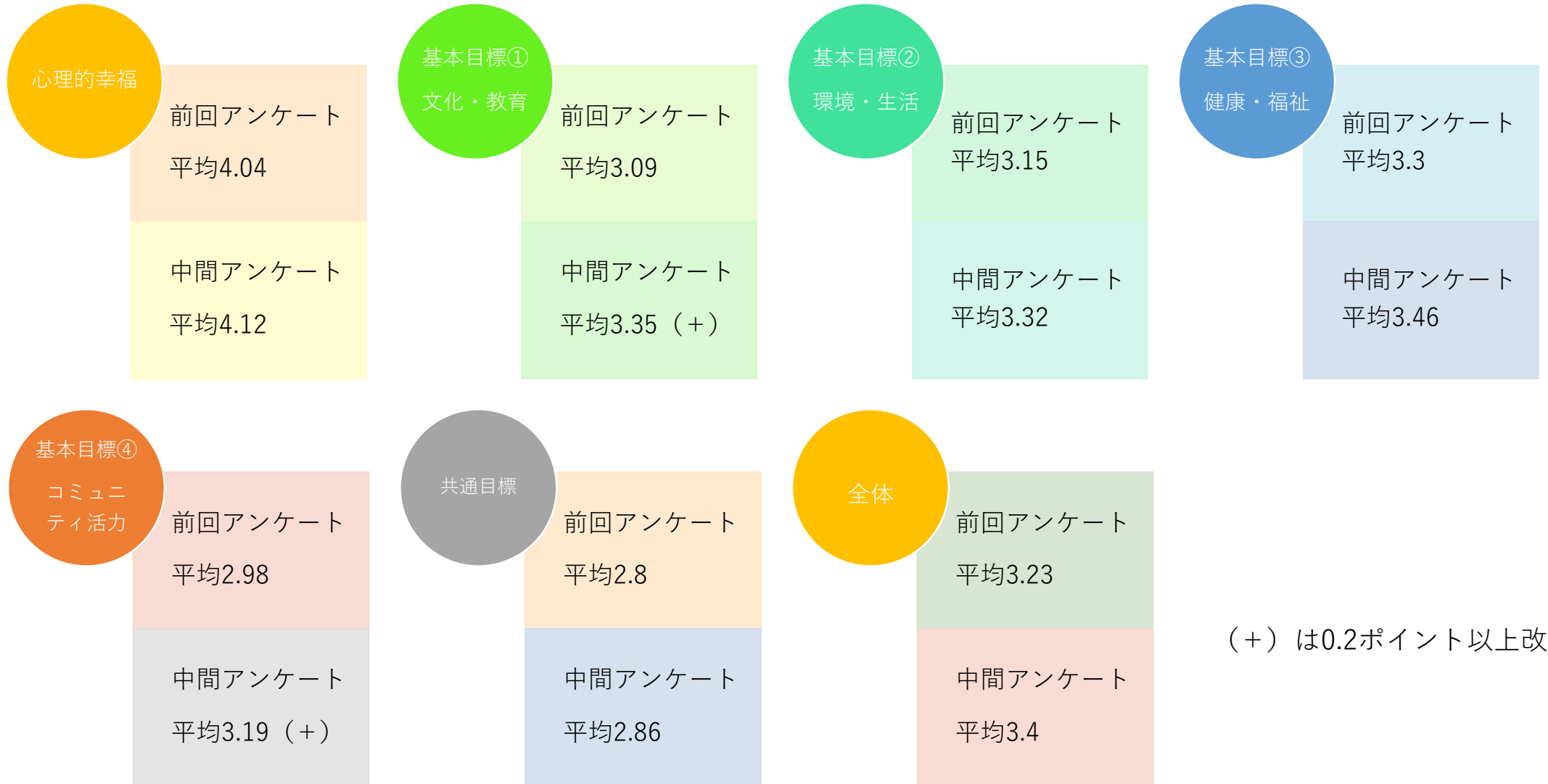
## 中間アンケート（調査対象）

- アンケート対象者  
町内の中学生およびその保護者
- 回答数  
中学生…80名  
保護者（大人）…69名

	男性	女性	回答しない
中学生	40	36	4
保護者（大人）	5	54	10

- 数値の出し方（平均値について）  
各指標の平均値は、「そう思う」…5点～「そう思わない」…1点として、その総和を回答数で割った値です。

# 中間アンケート結果（施策体系別、2019年との比較）



(+) は0.2ポイント以上改善

## 中間アンケート結果（2019年との比較）

- 総じて、前回のアンケートよりも数値が改善しています。  
「文化・教育」「コミュニティ活力」は、平均で0.2ポイント以上向上しています。
- 平均が4点を超えた項目
  - ②あなたは思いやりを抱いていると思いますか？
  - ③美味しくゴハンを食べていると思いますか？
  - ⑤あなたは日常的に挨拶をしていると思いますか？
  - ⑬中学生たちがきまりを守ることが重要だと思いますか？
  - ⑰あなたはゴミの分別ができていると思いますか？
  - ⑳あなたはキャベツや餃子が好きだと思いますか？
- 平均が2点台の設問は、意図的に取り組み、改善していく必要があります（項目内容は後述）。

## 中間アンケート結果（中学生と大人の差）

- 総じて、中学生の方が幸福度が高いです。

中学生平均：3.55 大人平均：3.22

- 中学生と大人で差が多い項目

④あなたは興味・関心のあることができると思いますか？

中学生（4.43）、大人（3.48）

⑫災害時に地区内の人と助け合いの関係ができていると思いますか？

子供（3.6）、大人（2.64）

⑬生涯にわたってスポーツや学習できる環境が充実していると思いますか？

子供（3.74）、大人（2.88）

⑮あなたは高齢者や障がい者への福祉が充実していると思いますか？

子供（3.7）、大人（2.97）

⑲高鍋町で働きたいと思う仕事はありますか？

中学生（2.45）、大人（2.86）

## 中間アンケート結果（全体として2点台の設問）

⑧あなたは地域の歴史を知っていると思いますか？

総合（2.93）、中学生（3.14）、大人（2.68）

⑪あなたは積極的にボランティアに参加していると思いますか？

総合（2.86）、中学生（3.21）、大人（2.52）

⑳あなたは公共の乗り物（バス・電車等）を積極的に使っていると思いますか？

総合（2.07）、中学生（2.71）、大人（1.32）

㉑あなたは災害への備えができていますか？

総合（2.89）、中学生（3.26）、大人（2.46）

㉓高鍋町の防災体制は十分だと思いますか？

総合（2.91）、中学生（3）、大人（2.81）



## 中間アンケート結果（全体として2点台の設問）

③③高鍋町で働きたいと思う仕事はありますか？

総合（2.77）、中学生（2.64）、大人（2.86）

③④町外の人たちに高鍋町の魅力を十分伝えられていると思いますか？

総合（2.67）、中学生（2.79）、大人（2.54）

③⑤街に訪れる人に対しておもてなしは十分だと思いますか？

総合（2.85）、中学生（3.06）、大人（2.59）

③⑥高鍋町でイベントを企画したいと思いますか？

総合（2.85）、中学生（3.04）、大人（2.43）

③⑦町の行政を信頼していると思いますか？

総合（2.83）、中学生（2.88）、大人（2.77）

## 中間アンケート結果（全体として2点台の設問）

③⑧町政への参加意欲は十分に満たされていると思いますか？

総合（2.79）、中学生（3.04）、大人（2.49）

③⑨町政の取り組みは、あなたの暮らしを良くしてくれていますか？

総合（2.99）、中学生（3.11）、大人（2.84）

④⑩次世代の子どもたちに自信を持って引き継ぐことができる街になっていると思いますか？

総合（2.81）、中学生（3.03）、大人（2.57）

## 中間アンケート結果（大人だけ2点台）

- ⑧あなたは地域の歴史を知っていると思いますか？（2.68）
- ⑪あなたは積極的にボランティアに参加していると思いますか？（2.52）
- ⑫生涯にわたってスポーツや学習できる環境が充実していると思いますか？（2.88）
- ⑰あなたは災害への備えができていますか？（2.46）
- ⑱災害時に地区内の人と助け合いの関係ができていますか？（2.64）
- ⑳高鍋町の防災体制は十分だと思いますか？（2.81）
- ㉕あなたは高齢者や障がい者への福祉が充実していると思いますか？（2.97）
- ㉙あなたは地域の医療機関が充実していると思いますか？（2.83）
- ㉛高鍋町の産業は元気で活気があると思いますか？（2.94）
- ㉞街に訪れる人に対しておもてなしは十分だと思いますか？（2.59）
- ㊱高鍋町でイベントを企画したいと思いますか？（2.43）
- ㊳町政への参加意欲は十分に満たされていると思いますか？（2.49）
- ㊵町政の取り組みは、あなたの暮らしを良くしてくれていますか？（2.84）
- ㊿次世代の子どもたちに自信を持って引き継ぐことができる街になっていると思いますか？  
（2.57）

## 中間アンケート結果（インプリケーション）

- アンケート結果から見えてきたこと

- ①中学生世代よりも親世代へのフォローが重要です。親世代の負担や不安の軽減につながる取り組みが求められます。
- ②中学生の結果は大人とのギャップが多いところもありました。項目によっては、現実を見据えた形で、高鍋町や暮らしに関する意識の醸成や学びの支援が重要です。
- ③中学生から大人へのアプローチができる項目として、「歴史」「ボランティア」「防災」などがあります。学校の学びなどを家庭に持ち帰るルートを作ることも1つの手となります。
- ④大人から中学生へのアプローチができる項目として、「仕事」に関するものがあります。大人から中学生へ、高鍋町にどのような仕事があり、どんな魅力があるのかを伝えることが求められます。

→今回の中間サーベイでは、2つの世代間で大きなギャップがありました。次回の本アンケートでは、世代別の集計も行い、それぞれの世代が感じている幸福度を検討する必要があるようです。

→上記のような取り組み実施していくことで、共通目標に関する項目も数字があがってくるのではないかと予測できます。

# ソーシャルサステナビリティに関するアンケートについて

- 今回の中間アンケートでソーシャルサステナビリティ（持続可能性に関する社会的側面）に関する項目も聞きました。
- これらの項目は、町民のみなさんが、自ら幸せに暮らしていくために構造的な問題となっていることを見える化することを目的としました。もし、これらの構造的な問題があるとしたら、それらを取り除くための政策などが必要となります。
- ソーシャルサステナビリティの項目は、地域コミュニティの規範や権力（行政や事業所を含む）によって、健康や影響力などに障害があるかどうかをチェックします。
- アンケートは、記述方式で回答で実施しました。今回は、回答数が少なく、参考データとして活用してください。
- 記述内容をテキストマイニング（KH Coderによる共起ネットワーク）で処理し、参考資料として添付しています。

# ソーシャルサステナビリティに関するアンケートについて

- アンケート結果から見えてきたこと（参考として）

## <健康>

- ①医療施設や介護・介助に関すること
- ②賃金の問題、人手不足に関すること
- ③母子家庭に関すること

## <影響力>

- ①地域の行事が多いこと
- ②婦人会等、特定の人に偏ること

## <学習>

- ①情報交換や学びの場に関すること
- ②図書館に関すること

# ソーシャルサステナビリティに関するアンケートについて

- アンケート結果から見えてきたこと（参考として）

## <公平性>

- ①学校の校則に関すること

## <意味・意図>

- ①学校生活における生徒の個性に関すること
- ②髪型等に関するルールに関すること

これらの内容に関しては、必要に応じて、ヒアリング調査などを実施して、構造的な問題を解決していくことが求められます。

## まとめ①

- コロナ禍におけるアンケートの実施となりましたが、前回よりも高い数字という結果でした。アンケートの対象を絞ったという要因もありますが、住民のみなさんがコロナ禍でも幸せを実感しながら暮らしていることが分かりました。
- アンケート結果からは、中学生の方が、大人よりも幸福度が高い結果でした。子育て世代は、仕事、子育て、親の介護等の問題を多く抱え、負担や不安等があるのかもしれませんが。このことに関しては、行政だけでなく、職場や地域でも何らかのフォローが必要なことではないかと考えられます。
- アンケートの項目によっては、中学生と親世代がともに家庭でできることがあると思います。お互いの高かった部分を補う形で、双方向のコミュニケーションが取れるといいのではないのでしょうか。

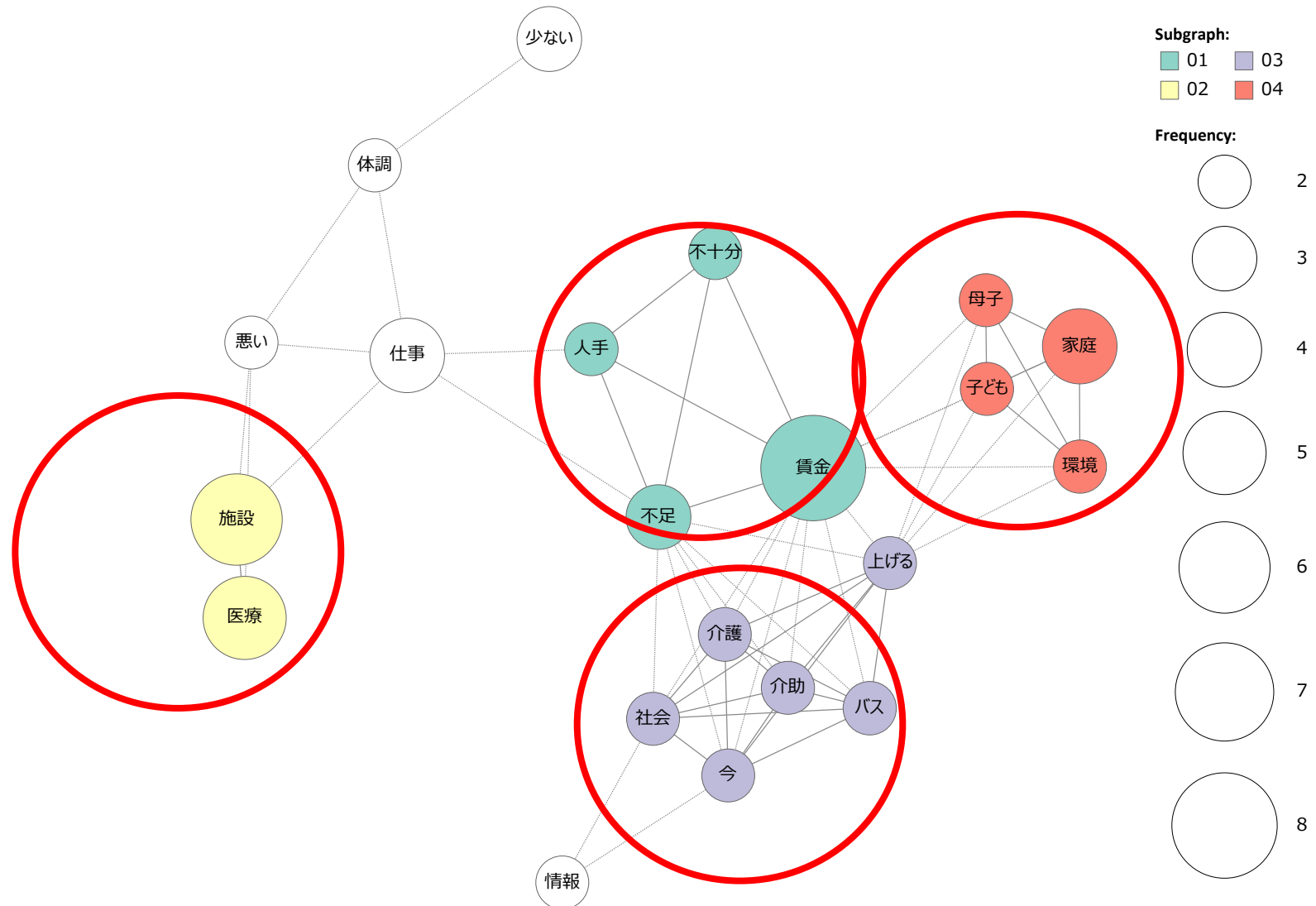


## まとめ②

- ソーシャルサステナビリティに関する項目は、母数が少なく参考程度ですが、「医療施設や介護・介助に関すること」「賃金の問題、人手不足に関すること」「地域の行事が多いこと」「情報交換や学びの場に関すること」「学校の校則に関すること」などがあげられました。
- ソーシャルサステナビリティの項目については、必要に応じてヒアリング調査をするなど、構造的な問題の解決に向けた取り組みが重要です。
- アンケートの数字をヒントにしながら、家庭、学校、職場などで、質の高い充実した生活を実現していくための方法を話し合ってみてください。

# 参考：ソーシャルサステナビリティに関するアンケート①

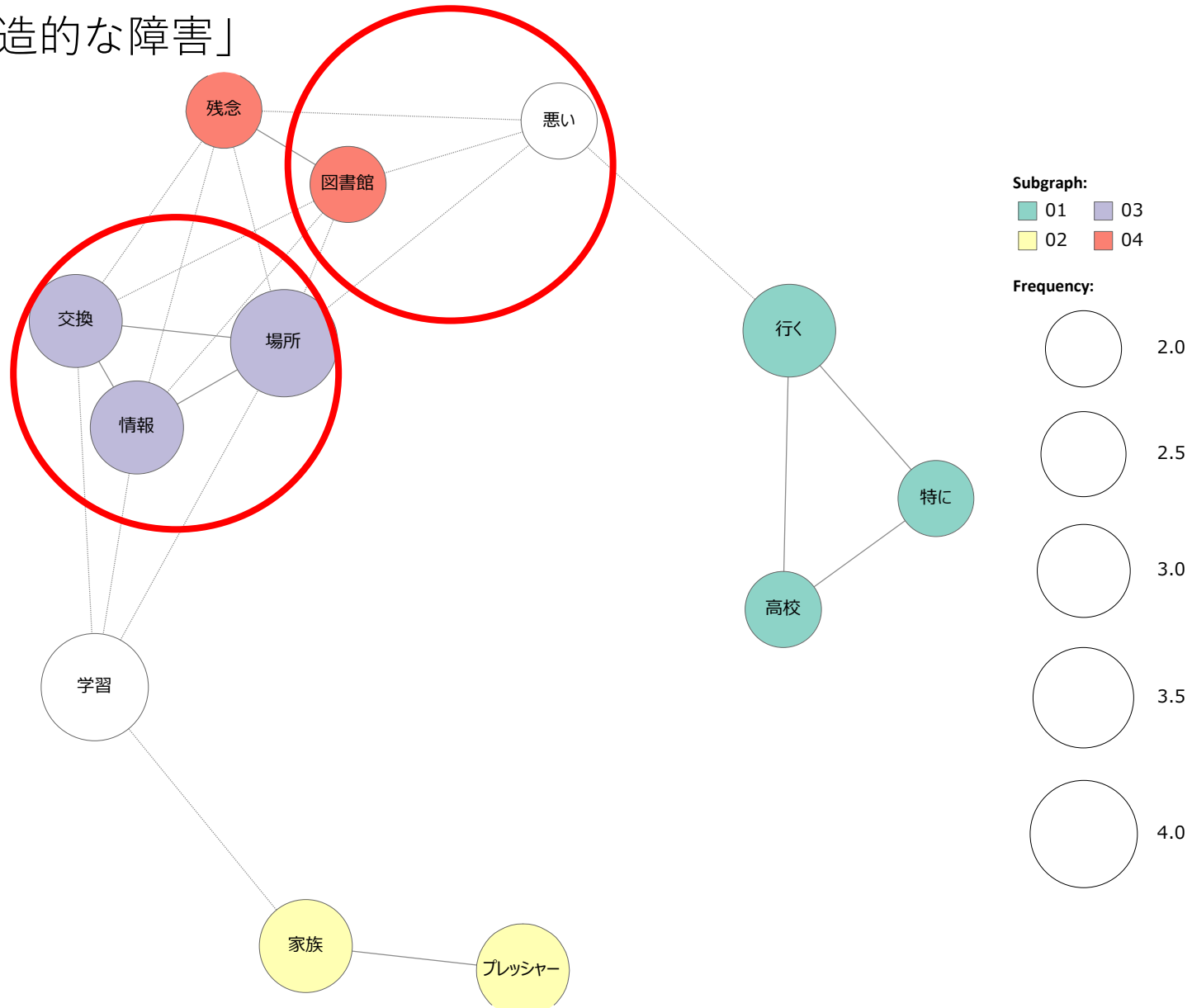
- 健康に関する「構造的な障害」





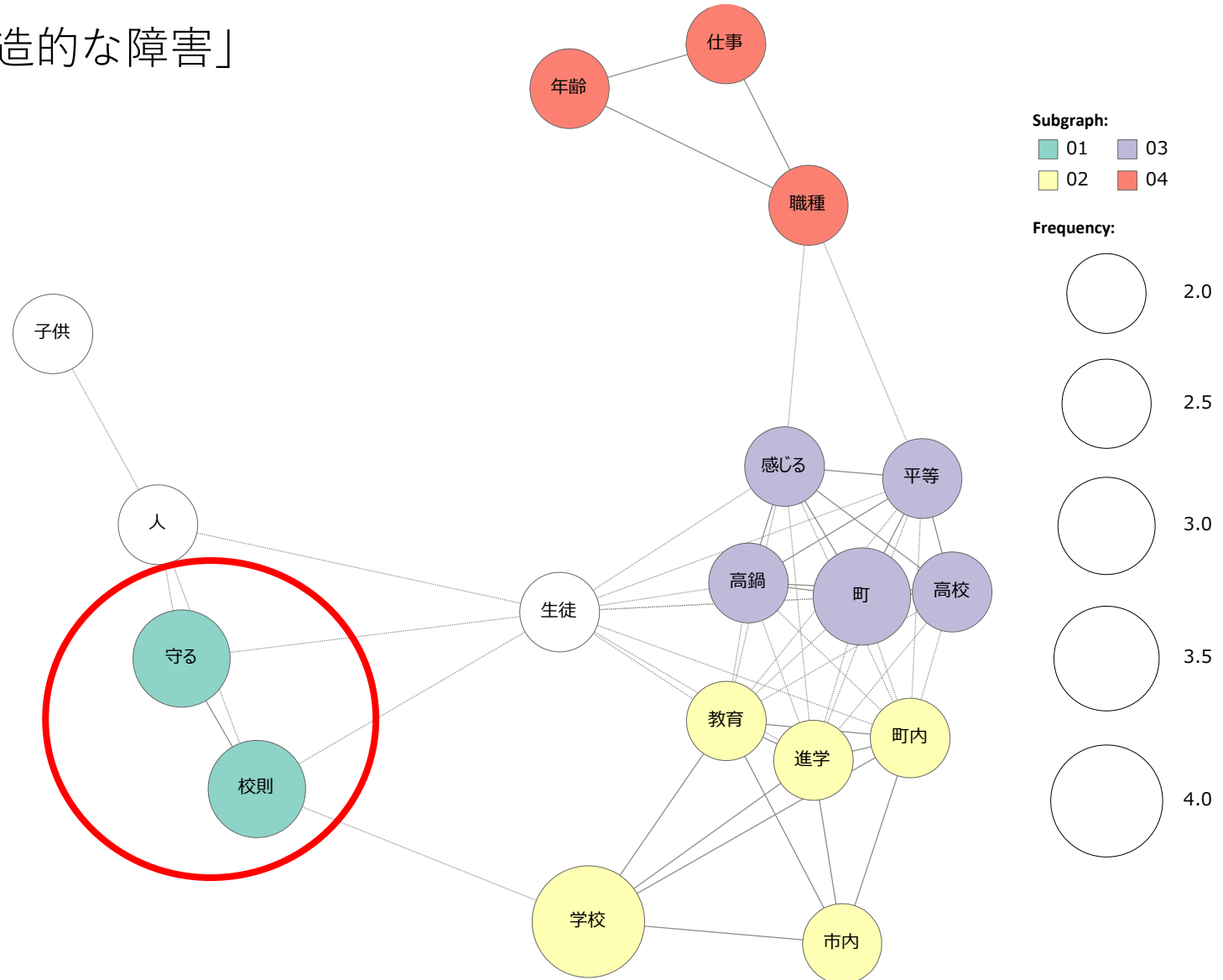
# 参考：ソーシャルサステナビリティに関するアンケート③

- 学習に関する「構造的な障害」



# 参考：ソーシャルサステナビリティに関するアンケート④

- 公平性に関する「構造的な障害」



# 参考：ソーシャルサステナビリティに関するアンケート⑤

- 意味・意図に関する「構造的な障害」

